

## 2024 年度普及啓発事業について

### 1 交流セミナー開催

- ・2023 年度は 2022 年度から引き続き、民間事業者とコラボレーションして交流セミナー「共生社会を目指して「壁」を壊す！～様々な障害者コミュニケーションを学び、世界を広げよう！～」を開催した。
  - ・交流セミナーで目標とする「普段障害者と接する機会が少なく、関心が薄い層への普及啓発」に一定の効果を得ることができたと考えられる。2024 年度も同様の手法で交流セミナーを開催予定。
  - ・2022 年度は聴覚障害、2023 年度は視覚障害と関係が深い著名人をゲストとしたことから、2024 年度はそれら以外の障害種別と関係が深い著名人をゲストに選定することを検討。
  - ・また、2023 年度に委員から意見として挙げられた以下の点を反映する。
    - ①情報保障の手法、情報保障席の配置を再検討。
    - ②専門部会関係者への案内について、より広く参加いただけるよう御案内の時期を事業者と調整する。
- ※あいちアール・ブリュット展において愛知労働局（ハローワーク）と連携して実施している企業向けの「障害者雇用促進セミナー」は継続開催の予定。

### 2 コミュニケーション支援アプリの運用および周知活動

コミュニケーション支援アプリを継続運用し、より使いやすくなるよう更新を図る。加えて、チラシの配布や関係団体の会議等の場でのご紹介など、周知活動を展開する。

### 3 市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナーの開催

市町村職員に向けて、避難所での対応を念頭に置いたコミュニケーションセミナーを開催する。

#### 【参考】これまでの普及啓発事業

- 2016 年 10 月：手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例制定
- 2016 年度：条例説明リーフレット・ポスター作成及びシンポジウムの開催
- 2017 年度：子ども向け普及啓発ワークシートの作成及び条例 PR イベントの開催
- 2018 年度：企業向けリーフレット及び障害者理解促進イベントの開催
- 2019 年度：市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナーの開催
- 2020 年度：コミュニケーション支援アプリ開発・普及
- 2021 年度：企業向け小冊子作成・配布及びシンポジウムの開催、コミュニケーション支援アプリ運用
- 2022 年度：条例説明リーフレットの増刷、交流セミナーの開催、コミュニケーション支援アプリ運用
- 2023 年度：コミュニケーション支援アプリチラシの増刷、交流セミナーの開催、コミュニケーション支援アプリ運用